

令和8年度昭和100年記念展付帯事業「記録資料から未来の県政へ
～小中高生のためのアーカイブズ・デイ～」について

1 趣旨

- ・令和8年度連携展「昭和100年記念展 記録資料でたどる秋田の1世紀」の付帯事業として、少人数の体験型ワークショップを行います。
- ・本事業は、単なる展示鑑賞に留まらず、職員による時代背景の解説から、児童・生徒が自ら資料を検索・申請して閲覧する手続きまでを体系的に体験し、自らが生きる地域の歴史や社会について主体的に探究する力を養うものです。
- ・これにより、当館が県民の共有財産を守る知的資源の拠点であることを広く周知し、県政への関心や主権者意識を醸成するとともに、日常的な利用へとつなげる動機付けといたします。

2 日程

開催日時 令和8年7月28日（火） 午前10時00分から11時30分

3 会場：秋田県公文書館（秋田県立図書館3階多目的ホール）

4 担当：秋田県公文書館 職員

5 参加者

(1) 募集人数：10名（事前申込制・先着順・保護者含む）

※少人数でのワークショップ形式のため、学校単位や部活動等のグループによる一括申込は受け付けず、児童・生徒個人による個別申込をお願いいたします。

※教員の方の引率・見学も可能です。

(2) 対象：小学6年生から高校3年生まで

*小学生は保護者同伴（保護者1名を含む計2名でお申し込みください）

*小学生は夏休みの自由研究、中高生は総合的な学習・探究の時間を想定

(3) 参加料：無料

6 イベントの内容（所要時間：計90分）

【タイムスケジュール】

午前9時30分：受付開始

午前10時00分～10時10分（10分）：① 公文書館の役割解説

- ・「公文書館ってどんなところ？」をテーマに、記録を未来へ残し県民へ公開する基本理念をわかりやすく説明します。

午前10時10分～10時40分（30分）：② 展示資料の解説（講座）

- ・「昭和の秋田へタイムトラベル！」として、資料をプロジェクターも交えて職員が解説します。

資料例：週報、官報、県民の歌、広報誌、秋田市電、秋田空港、秋田湾開発、ふるさと創生、リゾート構想、新幹線等

*参加フォームにて、興味分野を選定予定

午前10時40分～11時20分（40分）：③ 申請・閲覧体験

- ・「資料を実際に見てみよう！」として、簡易目録からの資料選定、閲覧申請書の記入、卓上での閲覧および職員によるコンサルテーションを実施します。

午前11時20分～11時30分（10分）：④ 振り返り・アンケート

- ・所感の共有、本番の記念展への案内、満足度測定のための検証アンケートを実施し、解散といたします。

7 募集および受付管理

- (1) 申込方法：Google フォーム（定員に達し次第、締め切ります）
- (2) 受付期間：7月3日（金）から7月24日（金）まで
- (3) 名簿作成：参加者の「氏名・よみがな・電話番号」の一覧表を作成し、当日の受付管理および体験用簡易目録の事前配分に活用します。
- (4) 備考：教員の方が見学（視察等）を希望される場合は、フォームではなく、【お問い合わせ先】のメールアドレスへ直接連絡していただきます。その際件名に「アーカイブズ・デイ見学希望」と記載の上、所属・氏名・連絡先電話番号（開催可否等の緊急連絡用）をお知らせください。

8 運営上の留意事項

ワークショップ内での資料汚損・破損を防ぐため、以下のルールを参加者に徹底していただきます。

【閲覧ルール】

- ・私物（鞆・コート・雨傘等）は指定の物置テーブルへ置いていただきます。
- ・使用する筆記用具、「鉛筆のみ」といたします。
- ・室内での水分補給は指定のテーブルで行ってください。

【資料取扱ルール】

- ・事前の準備：触れる前の手洗い、および腕時計や指輪等の取り外し。
- ・めくり方の注意：ページは丁寧におめくりください。
- ・書き込みの禁止：資料への書き込みは一切禁止です。
- ・衛生面への配慮：唾液飛散防止のため、マスクの着用を推奨いたします。

9 【お問い合わせ先】 Koubunshokan@pref.akita.lg.jp

※美の国あきたネット 公文書館HPにもメールアドレスを掲載しています